

地域運動部活動推進事業 成果報告書

～KUROBE型地域部活動の実践～

1. 実践の背景と課題

「競技力をさらに高め、各種大会で活躍したい」と感じている生徒に対する社会体育の受け皿の不足。将来的な生徒数の減少により一部の部活動が成立しなくなる等、本市の中学校のスポーツ活動に対する懸念材料が存在している。このため、中学部活動、市、市体育協会（総合型地域スポーツクラブを運営）、各競技協会が連携した新しい部活動のあり方を検討し、中学生の競技力向上とスポーツ好きな子どもの健全育成の更なる充実を図ることを目的として実践する。

〈中学部活動が抱える課題〉

- ・顧問が専門外（小学生段階では優秀な成績を収めていたが、中学部活動で専門的な指導が得られないことによるモチベーションの低下。）
- ・外部指導者を活用した指導が難しい（外部指導者の勤務の関係により、学校のニーズに応じた日時での指導が難しい。）
- ・教員（顧問）の過重労働化
- ・生徒数の減少による一部部活動における部員数不足
- ・競技協会との連携不足

〈各競技協会が抱える課題〉

- ・少子高齢化の進展による競技者数の減少
- ・小（スポーツ少年団）・中学部活動・高校部活動・社会人（企業チーム・クラブチーム）の一貫した指導体制の欠如
- ・指導機会が少ない（マンパワーの未活用）
- ・中学部活動との連携不足

以上の課題と向き合いながら、土日の部活動を教員ではなく、地域の指導者が担う仕組みを構築し、実践してきた。

2. 実践内容

運営団体 事務局運営：黒部市教育委員会

活動運営：市内競技協会及び競技団体

期間 令和3年9月25日(土)～令和4年3月20日(日)

拠点校 明峰中学校 女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、アーチェリー、陸上(合同)、柔道(合同)、剣道(合同)

連携校 清明中学校 陸上(合同)、柔道(合同)、剣道(合同)

参加人数 173名（他クラブ加入者を除き、全員加入）

指導者 26名（うち教員3名）

R3年度 KUROBE型地域部活動 参加人数

		指導者数	生徒数	備考
拠点校 明峰中学校	女子バレーボール	5	17	2年6、1年11
	男子バスケットボール	2	10	2年4、1年6
	女子バスケットボール	3	13	2年10、1年3 ※指導者1名教員
	アーチェリー	2	31	2年15、1年16 ※指導者1名教員
	陸上(合同)	7	33	2年10、1年23
	柔道(合同)	4	6	2年3、1年3 ※指導者1名教員
	剣道(合同)	3	11	2年7、1年4
	小計	26	121	
連携校 清明中学校	陸上(合同)	(7)	25	2年9、1年16
	柔道(合同)	(2)	9	2年5、1年4
	剣道(合同)	(3)	18	2年9、1年9
	小計		52	
合計			173	

3 成果報告事項

① どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか

ア あり方検討会の設立

- ・事前に、競技団体に仕組みを説明し、どういった形で中学生の指導体制を組めるのか打診した。
- ・校長会、市中体連、市体協、市PTA連合、各競技団体から代表を推薦いただいた。

イ 学校教員との関係

- ・事前に、内容を説明し、複数回意見交換を行った。
- ・指導者と連絡をとってもらうことや学校施設の他の部活動との利用調整を依頼した。
- ・平日の指導と休日の指導の連携をとることを依頼した。

ウ 保護者への説明

- ・対象部活動の保護者に事前に説明資料を配布し、説明会を実施した。
- ・学校部活動は全員加入制であるが、本活動は任意とした。
- ・万が一の事故の対応のために、緊急連絡先を提出いただいた。
- ・活動開始に際しては、指導者の紹介や活動内容など保護者向けに開催することは有効であった。

エ 指導者

- ・事前に説明した競技団体から、指導者を派遣していただいた。
- ・事前に、内容を説明し、意見交換会を行った。
- ・指導中にも不都合な点は、事務局側と共有し、改善してきた。

オ 事務局等(市スポーツ課)

- ・方針の作成
- ・指導のためのガイドラインの作成
- ・緊急時の対応マニュアルの作成
- ・活動にかかる消耗品の援助
- ・指導者向けの講習会の充実

② どのような支援が拠点校の取り組みや関係団体の協働を効果的に促進することができるか。

- ・スポーツ所轄課等が間に入って指導者や活動団体を確保することで、学校とのつながりを構築しやすい。
- ・中学校の管理職には、しっかりと説明したうえで、理解していただき、学校側と同じ熱量で進めることが大事。
- ・活動にかかる財政的支援。（保険料補助、指導者への謝金、活動運営団体への備品購入の費用など）
- ・計画的に練習をすることができる、施設環境の確保をしておくこと。
- ・指導者講習会の講師派遣による支援。

③ どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか。

- ・報告10参照

④ どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか。

- ・市内の競技団体に積極的に関わっていただけるよう、懇切丁寧に説明し、理解を求め、協力を依頼すること。
- ・その競技団体を統括する活動の母体を設置すること。
- ・活動の方針（活動時間や学校部活動との住み分けなど）を明確にすること。
- ・国、県、市、参加者、それぞれが何らかの形で費用負担をしていくこと。
 - 国や地域全体で育てるという考え方が、伝わりやすい。
 - 参加者の負担ばかりが増加し、それがスポーツをしないという理由にならないようにしたい。
- ・中体連関係の大会出場のあり方を検討する必要がある（クラブチームの参加や教員の引率等）
- ・部活動全員加入制を一斉廃止するべきである。

⑤ 実践研究における活動実績や得られたデータ

- ・報告9参照

4 KUROBE型地域部活動方針（取り組み）

ア 全体

- ①活動の運営は、指導者(競技協会)が主となって行う。
- ②土曜日または日曜日の活動とする。
- ③原則、顧問は参加しない。
- ④大会前の時期や選手決め等を行う際、指導者と顧問協議の上、必要に応じて土日の部活動を一部、通常学校部活動として良い。

イ 活動時間

- ①原則、活動時間は3時間程度とする。
- ②大会や大会前練習等によって、土日連日の活動も可とする。ただし、その場合は、指導者と顧問が連絡を取り合い、平日に休みを設けること。

ウ 活動場所

- ①中学校のグラウンド・体育館・格技場を利用する。顧問が他の部活動と調整を行う
- ②市内外の体育施設を利用することも可能とする。調整は指導者が行う。
- ③使用料等が発生する場合は参加者負担とする。

エ 活動に係る移動

- ①生徒個人の移動については、原則、現行の各中学校の部活動のルールに準じる。
- ②自校で活動する場合、スクールバスが使用できる状況、時間帯であれば利用できる。
(他の学校部活動がなく、地域部活動のみの日は、スクールバスは利用不可とする)
- ③大会等による市外への移動は、借上バスを推奨する。しかし、その他移動方法についても可能とする。ただし、生徒のみの移動は禁止とする。

オ 備品、用具

- ①学校部活動で使用しているものを使用する。
- ②消耗品については、1部活動(合同も1とする)あたり2万円を上限に事務局が負担する。

カ 施錠方法等

- ①明峰中学校体育館の鍵、警備用ICタグ、清明中学校格技場の鍵を主となる指導者に各部一式貸与する。
- ②管理は、主となる指導者が行う。
- ③明峰中学校格技場、体育館器具庫(部室)の鍵は、体育館開錠後、館内のキーボックスを開いて使用する。使用後はキーボックスに戻す。

キ 日程調整等

- ①指導者と顧問が連絡をとり、学校行事、休養日等を考えて調整を行う。
- ②顧問は、指導者と打合せ、地域部活動の日を部活動予定表に記入し、生徒及び保護者へ周知する。

ク 大会参加、遠征

- ①原則、指導者のみの引率で大会に参加可能。中体連主催の大会においては、顧問教員が引率しなければならない。
- ②大会遠征等に参加する場合は、保護者の同意が必要である。
- ③大会参加、遠征に係る費用は参加者負担とする。

ケ 連絡体制

- ①保護者は承諾書とともに、緊急時の連絡先を提出する。
- ②指導者は「緊急時のマニュアル」をもとに、迅速かつ適切な対応を行う。
- ③事故、怪我等による保護者へ連絡する案件は、保護者へ連絡後、顧問にも連絡する。
重大な事故等については、事務局へも連絡する。
- ④事後、指導者は事務局へ事故報告書(様式1)を提出する。

コ 保険

- ①指導者、生徒ともにスポーツ安全保険に加入する。
- ②指導者が報告する事故報告書をもとに対応する。

5 指導者

ア 指導者

- ①競技協会からの派遣指導者とする。
- ②指導は、指導者2名体制で行う。3名以上の指導者となる場合は、事務局と相談する。
- ③KUROBE型地域部活動指導者ガイドラインに留意して指導する。
- ④応急手当、AED講習会、県が開催する指導者講習会を受講する。
- ⑤指導内容、生徒の様子について顧問教員と共有する。

イ 兼職兼業

- ①希望がある場合、教員が協会からの派遣指導者となり得る。その場合、兼職願(様式3)を校長から市教委へ提出する。
- ②部活動指導員及びスポーツエキスパートを兼業してもよい。ただし、1回の活動において報酬及び謝金を重複して受け取ることはできない。

ウ 指導報告

- ①指導報告書(様式2)を、年度末に事務局へ提出する。

エ 謝礼

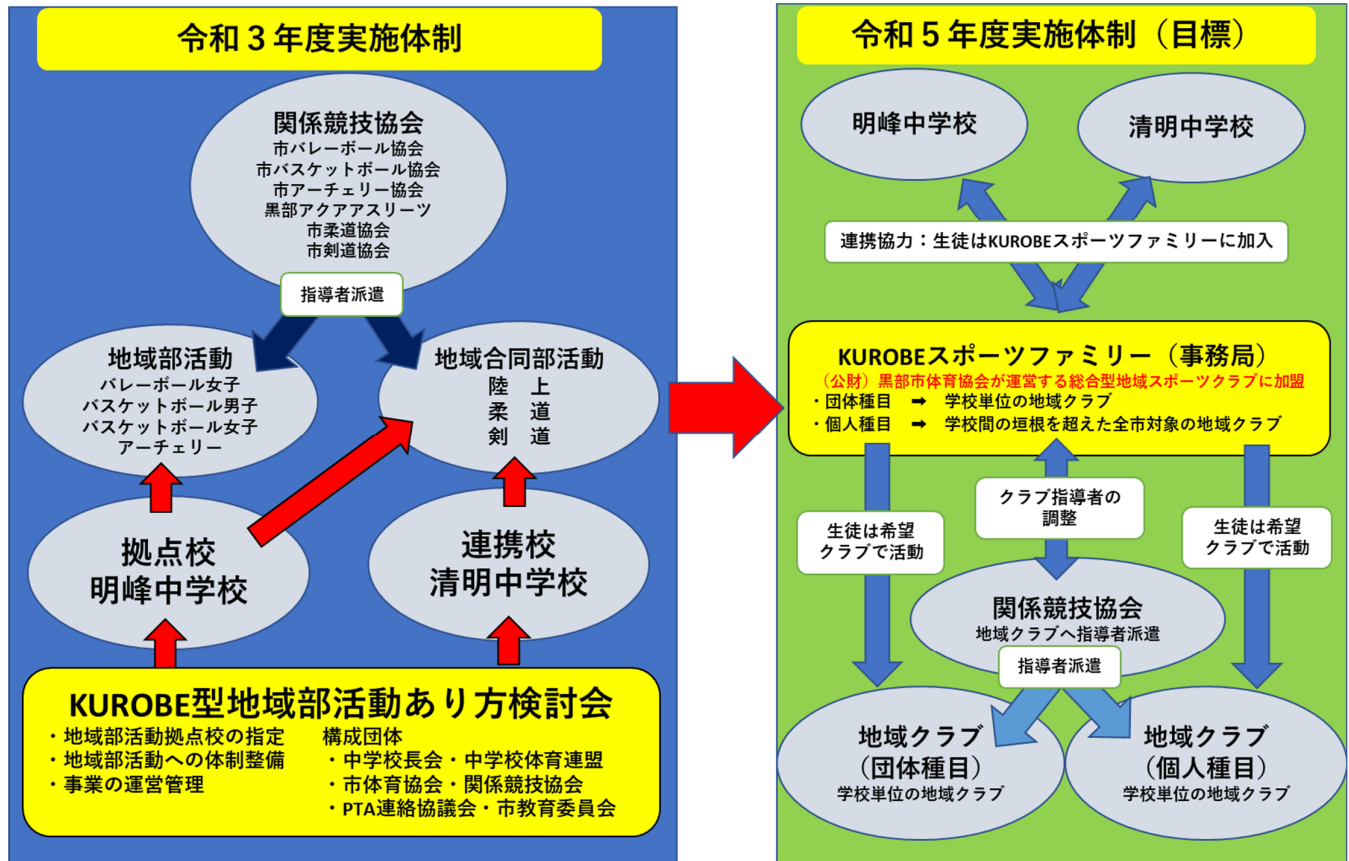
- ①一人あたり1時間1600円とする。ただし、1回の活動の上限は4800円とする。
- ②指導報告書に従い、年度末に競技協会へ支払う。
- ③3人以上の指導者で指導する場合、謝金の扱いについては相談の上、事務局で決定する。

カ 遠征費等の徴収

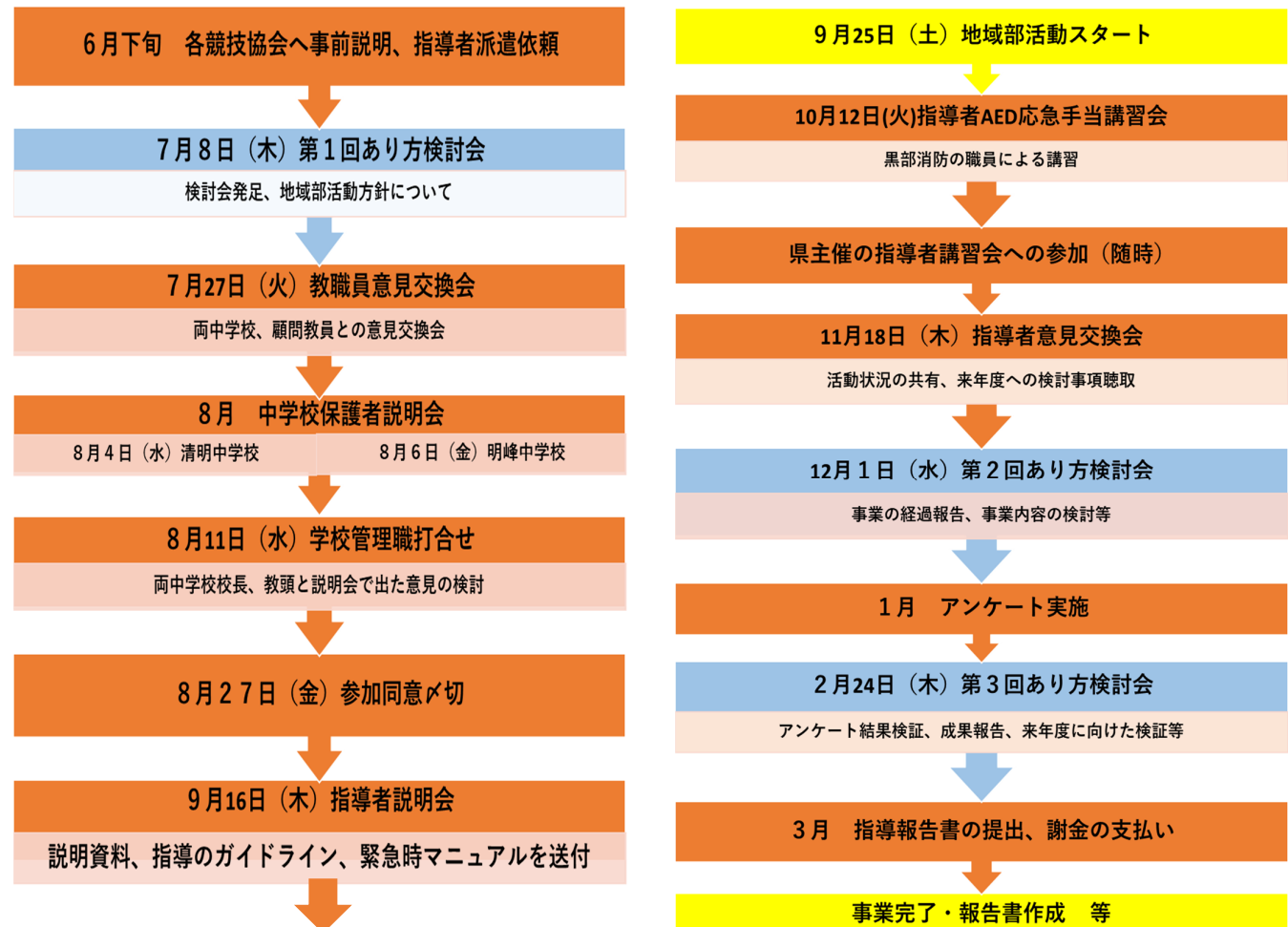
- ①遠征費や月会費が必要な場合は、事前に保護者へお知らせするとともに、指導者(競技協会)で収支状況がわかるよう決算報告や関係書類を作成、保管すること。

	性別	年代	種目	属性(本業)	確保の方法・経緯
1	男性	20代	バレーボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
2	男性	20代	バレーボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
3	女性	30代	バレーボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
4	男性	40代	バレーボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
5	女性	40代	バレーボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
6	男性	40代	バスケットボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	外部指導者の任用
7	男性	20代	バスケットボール	学生(大学生・大学院生など)	競技団体の紹介
8	男性	20代	バスケットボール	非常勤講師を含む現職の学校職員	兼業兼職の部活動顧問の任用
9	男性	30代	バスケットボール	民間企業に所属する競技・指導経験者	外部指導者の任用
10	女性	20代	バスケットボール	学生(大学生・大学院生など)	競技団体の紹介
11	男性	60代	アーチェリー	非常勤講師を含む現職の学校職員	兼業兼職の部活動顧問の任用
12	男性	60代	アーチェリー	民間企業に所属する競技・指導経験者	外部指導者の任用
13	男性	40代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
14	男性	50代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
15	女性	20代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
16	男性	20代	陸上競技	学生(大学生・大学院生など)	競技団体の紹介
17	男性	20代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
18	女性	20代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
19	男性	20代	陸上競技	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
20	男性	50代	柔道	民間企業に所属する競技・指導経験者	外部指導者の任用
21	男性	50代	柔道	民間企業に所属する競技・指導経験者	外部指導者の任用
22	男性	30代	柔道	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
23	男性	30代	柔道	非常勤講師を含む現職の学校職員	兼業兼職の部活動顧問の任用
24	男性	60代	剣道	民間企業に所属する競技・指導経験者	部活動指導員の任用
25	男性	60代	剣道	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介
26	男性	40代	剣道	民間企業に所属する競技・指導経験者	競技団体の紹介

6 KUROBE型地域部活動 実施体制イメージ図



7 KUROBE型地域部活動 活動の経緯



8 目標の検証一覧

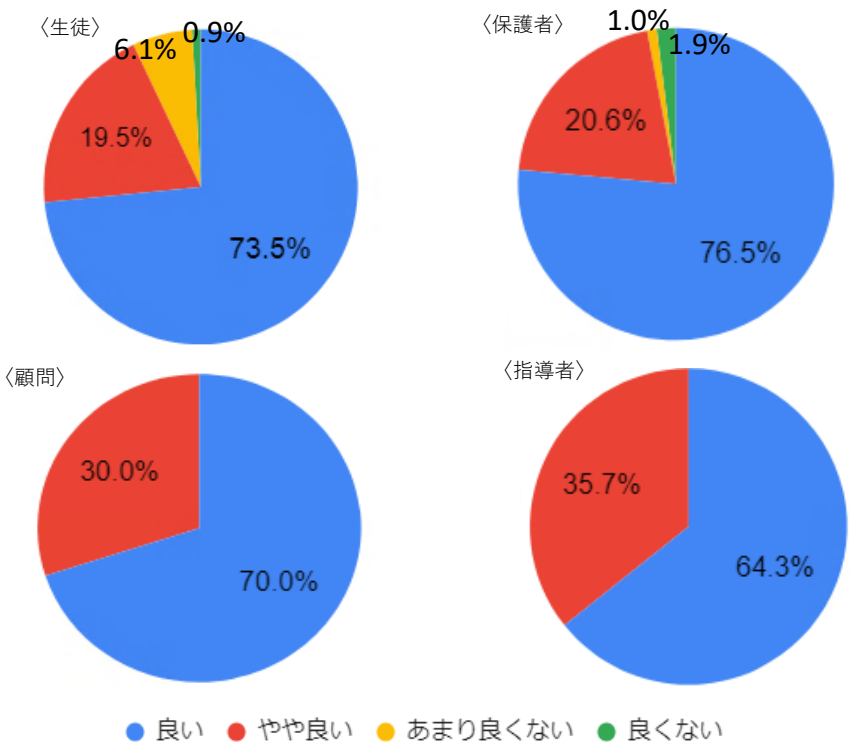
- 1 地域部活動移行に向けた地域運動部のあり方の検討（KUROBE型地域部活動あり方検討委員会の開催）
【評価方法】：生徒・保護者・教員へのアンケート実施と検証 → 【評価】：地域部活動移行について6割以上の理解
【成果】地域移行の取り組み「良い」「やや良い」生徒9割、保護者9割、教員10割、指導者10割 → 達成
- 2 地域部活動移行に向けた保護者・教員への理解促進
【評価方法】：保護者・教員へのアンケート実施と検証 → 【評価】：受益者負担（保護者負担）について6割以上の理解
【成果】受益者負担へ協力できる保護者7割 → 達成
- 3 地域部活動移行に向けた拠点校での実践
【評価方法】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 → 【評価】：「とても良い」・「良い」の合計を6割以上
【成果】生徒の満足度（指導の充実、体力技術向上、今後の意欲等）及び保護者の理解度9割以上 → 達成
- 4 地域部活動移行に向けた拠点校・連携校合同部活動の実践
【評価方法】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 → 【評価】：「とても良い」・「良い」の合計を6割以上
【成果】生徒の満足度（指導の充実、体力技術向上、今後の意欲等）及び保護者の理解度9割以上 → 達成
- 5 教員の時間外勤務の削減
【評価方法①】：拠点校対象部活動における土日の指導時間調査の実施 → 【評価①】土日の時間外勤務0時間
【評価方法②】：連携校対象部活動における土日の指導時間調査の実施 → 【評価②】土日の時間外勤務を30%削減
【成果】対象部活動の顧問教員の休日の時間外勤務時間は63.8%の減少 → 一部達成
【評価方法③】：指導を希望する教員の兼職・兼業の仕組み整備 → 【評価③】仕組みづくりの完成（7月～8月）
【成果】兼職兼業の仕組みにより、教員3名が地域部活動指導者として引き続き指導 → 達成

9 目標の検証詳細

<目標1>
地域部活動移行に向けた地域運動部のあり方の検討（KUROBE型地域部活動あり方検討委員会の開催）
【評価方法】：生徒・保護者・教員へのアンケート実施と検証 → 【評価】：地域部活動移行について6割以上の理解

【地域移行の取り組みについて「良い」「やや良い」の割合】

生徒	93.0%
保護者	97.1%
教員	100%
指導者	100%



部活動の地域移行という取り組みに対しては、「良い」「やや良い」の割合が9割以上を占めていた。理由を見ても、地域と連携することへのメリットや教員の負担削減への理解が高い傾向であった。一方で、地域移行という考えは良いが、活動内容によっては良くない場合がある意見もある。より綿密な活動内容の検討が必要である。

【主な理由】

〈生徒〉○学校よりも専門の指導をしてください。全国レベルの選手が指導して下さるので、刺激的。

○地域部活動となってから指導が充実し、もっと競技を知りたくなった。

○たくさんの先生(指導者)や他の中学校の生徒とも知り合えるから。

●もともと運動が嫌いだから

●今までとあまり変わらないから

〈保護者〉

○違った環境、外部の方に客観的に見てもらえることで子どもの成長に繋がる。地域の大人と関わり合いがとても勉強になる。

○教員の負担が減ることにより、休息がとれ、他の業務に専念できる。

●有難いことだが、指導者によっては良いとは言えない。一般の方なので心配。

●休日はしっかり休ませてあげたい。

〈教員〉

○生徒が専門的な指導が受けられる。地域の目、大人の関わりが増えた。

○負担が軽減された。土日は、別の仕事ができることや自分の時間をもてるようになった。

○地域として指導力向上と指導の一貫性が向上する。

●オフシーズンから始まったため、これからシーズンに入ってからメンバー決めが不安。

〈指導者〉

○地域（協会）で中学生を育成するという気持ちが芽生えている。

○学校から切り離すことで、生徒も学業とスポーツ活動の切り替えがうまくできているように感じる。

○2校のつながりが強くなった。

○コーチ陣が多彩で、多種多様な練習ができ、マンネリ化せず、オフにも継続したモチベーションで取り組んでいる。

●練習場所の不足を感じる。

●知らぬ間に競技特化の指導になりがちな可能性がある。

※
○賛成意見
●課題、提言

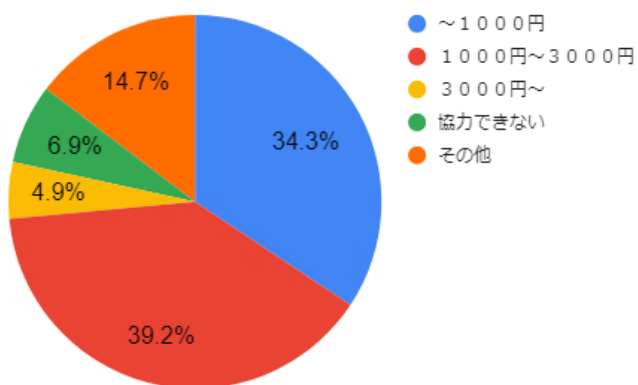
<目標2>

地域部活動移行に向けた保護者・教員への理解促進

【評価方法】：保護者・教員へのアンケート実施と検証 → 【評価】受益者負担（保護者負担）について6割以上の理解

【受益者負担に協力できると回答した割合】

保護者 78.4%



【その他ご意見】

- ・学校部活動が無料なのに、地域部活動のみ謝礼などの負担が出るのは疑問。
- ・提案した国や市が払うべきである。
- ・部によって内容が異なるため、一概に言えない。
- ・部ごとに額が決まるのか、全体として集金なのか、不明な点が多い。

受益者負担が発生した場合に、協力できるという割合が多かった。一方で、国や自治体が負担することもある必要であるという意見も見られた。また、集金の内容の明確さを求める声もあった。したがって、事業費の住み分けを確立させ、その説明とともに今後保護者への理解を得ていくことが必要である。

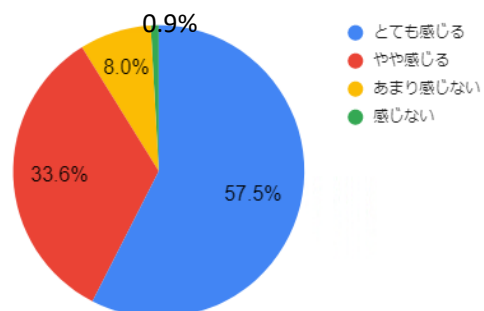
<目標 3>

地域部活動移行に向けた拠点校での実践

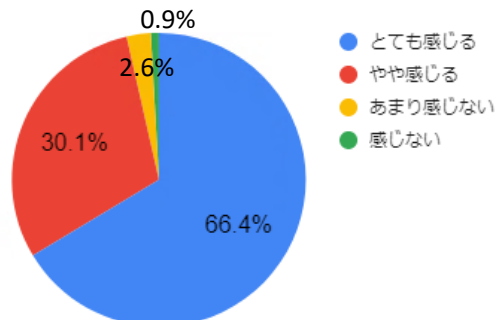
【評価方法①】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 → 【評価①】：「とても良い」・「良い」の合計を6割以上

KUROBE型地域部活動について・・・

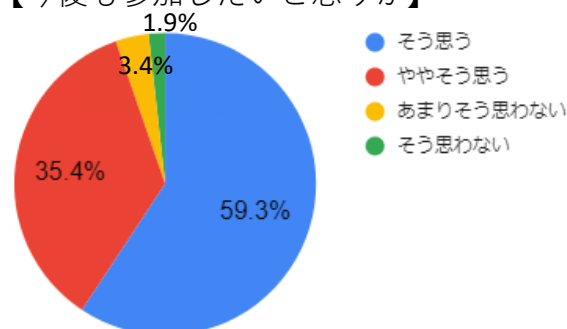
【これまでに比べ指導が充実したか】



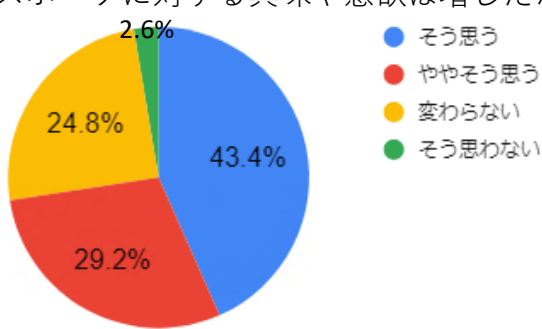
【技術や体力につながっているか】



【今後も参加したいと思うか】



【スポーツに対する興味や意欲は増したか】



生徒の調査では、どの項目においても肯定的な回答の割合が高く、満足度は高いと感じられる。一方で、一部部活動では、外部指導者や教員が引き続き指導しているところもあり、これまでと変わらないという意見がみられた。

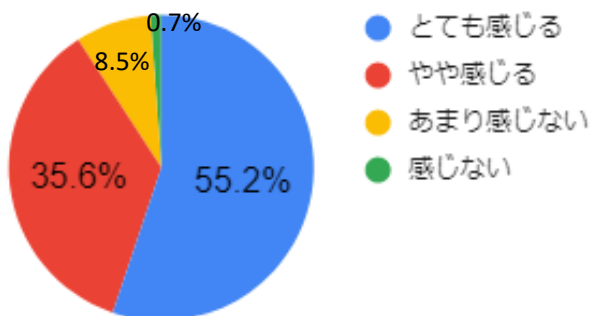
<目標 4>

地域部活動移行に向けた拠点校・連携校合同部活動の実践

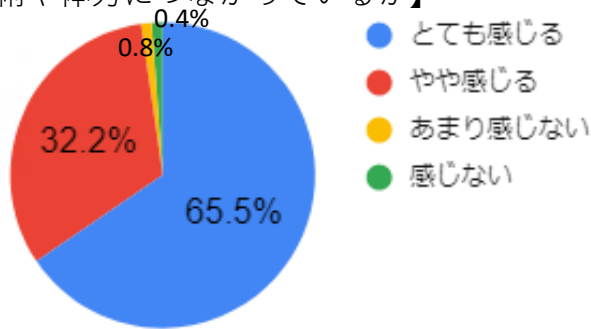
【評価方法①】：生徒・保護者へのアンケート実施と検証 → 【評価①】：「とても良い」・「良い」の合計を6割以上

KUROBE型地域部活動について・・・

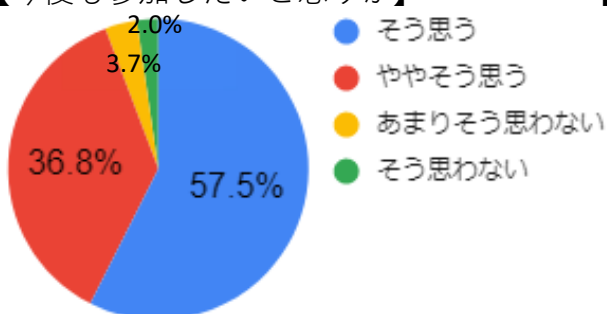
【これまでに比べ指導が充実したか】



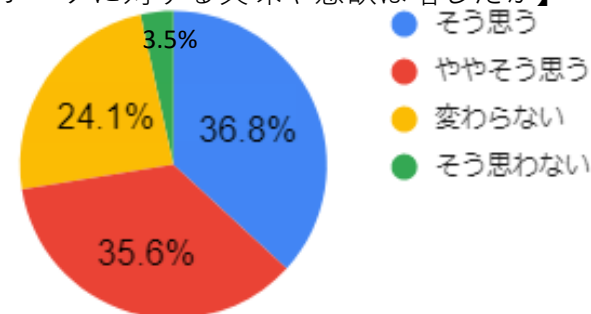
【技術や体力につながっているか】



【今後も参加したいと思うか】



【スポーツに対する興味や意欲は増したか】



合同部活動でも同じく、どの項目においても肯定的な回答の割合が高い。合同は刺激や励みになるという意見も多く、満足度は高いと感じられる。一方で、一部部活動では、外部指導者や教員が引き続き指導しているところもあり、これまでと変わらないという意見や活動場所の確保やそこまでの移動に難を感じている意見がみられた。

<目標 5>

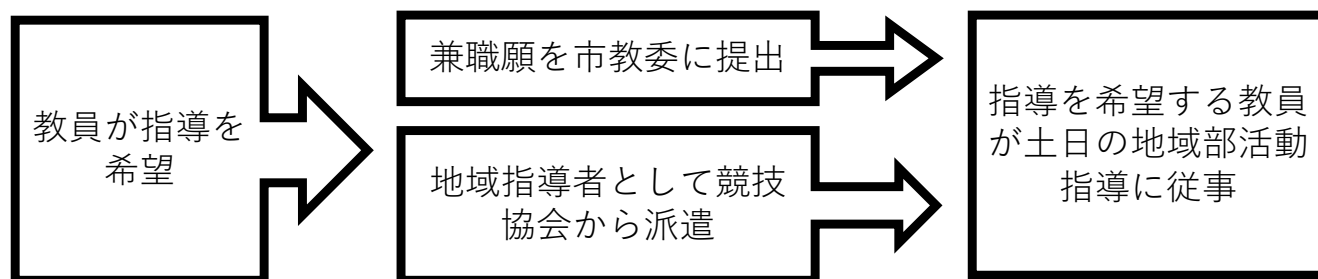
教員の休日の時間外勤務の削減

- 【評価方法①】：拠点校対象部活動における土日の指導時間調査の実施 → 【評価①】 土日の時間外勤務 0 時間
 【評価方法②】：連携校対象部活動における土日の指導時間調査の実施 → 【評価②】 土日の時間外勤務を30%削減

全体休日時間外勤務(16名)		1人あたり
R2.10～R3.1月	1178 h	73.6 h
R3.10～R4.1月	426 h	26.6 h
増減	-752 h	-47 h
増減率	63.8% 減少	

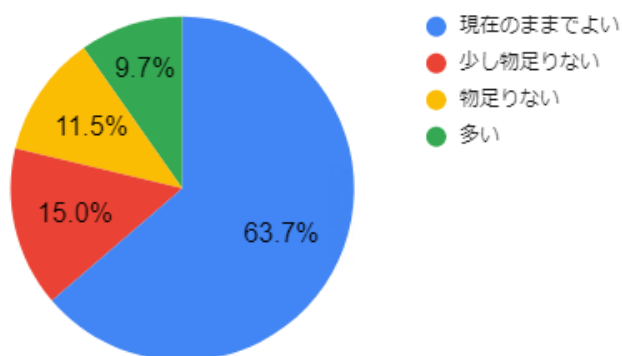
目標には、届いていないが、明らかな勤務時間の減少がみられた。しかし、大会や学校単位で参加する強化練習に参加する際、顧問の引率が必要であり、引率のルールについて中体連と連携した取り組みが必要である。大会等が少ない12月の休日時間外勤務は、16人中9人が0時間であった。

【評価方法③】：指導を希望する教員の兼職・兼業の仕組み整備 → 【評価③】 仕組みづくりの完成（7月～8月）

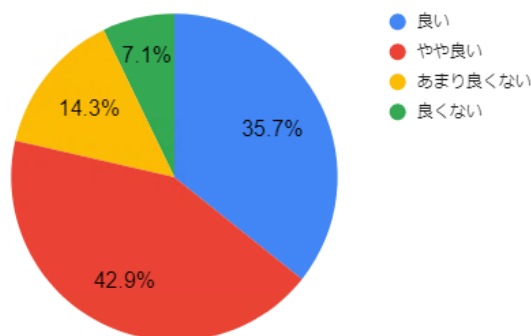


<その他アンケート結果>

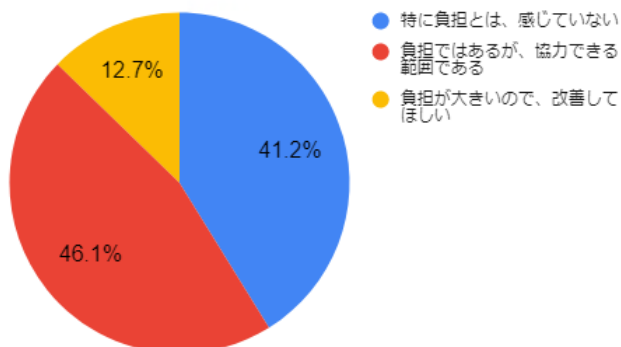
【生徒：活動時間や活動日数について】



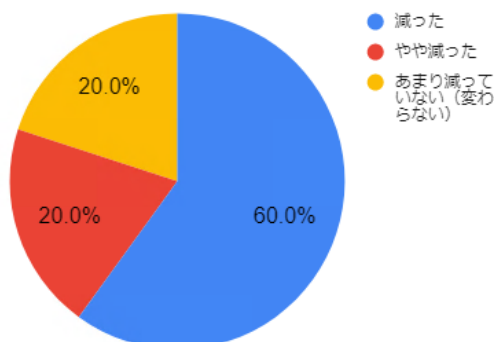
【指導者：活動時間や日数を増やすことについて】



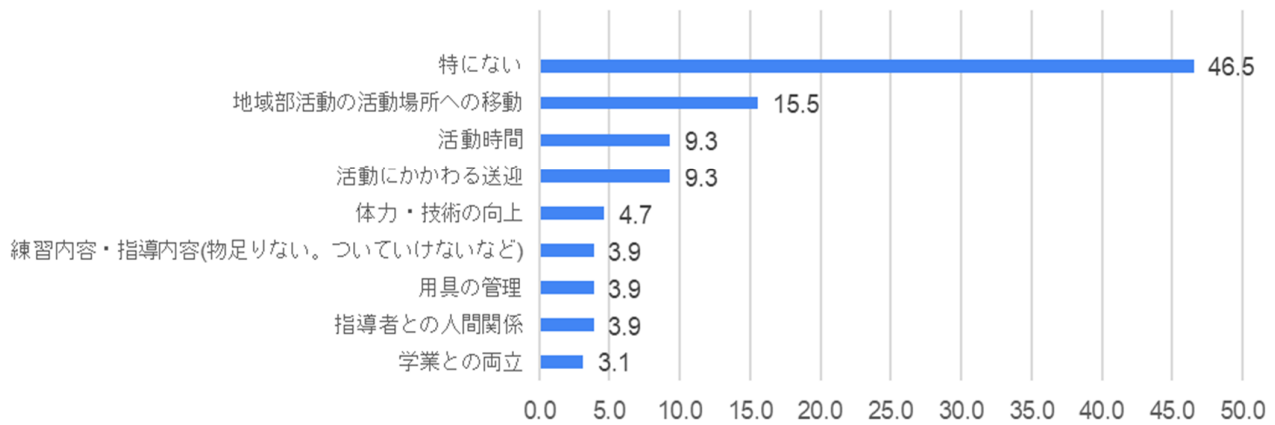
【保護者：負担をどう感じるか】



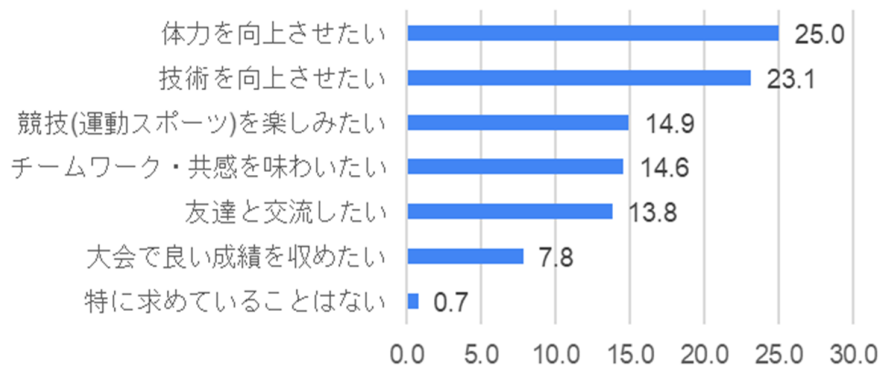
【顧問：負担は減ったかどうか】



〈生徒〉 KUROBE型地域部活動での困っていること（複数回答）



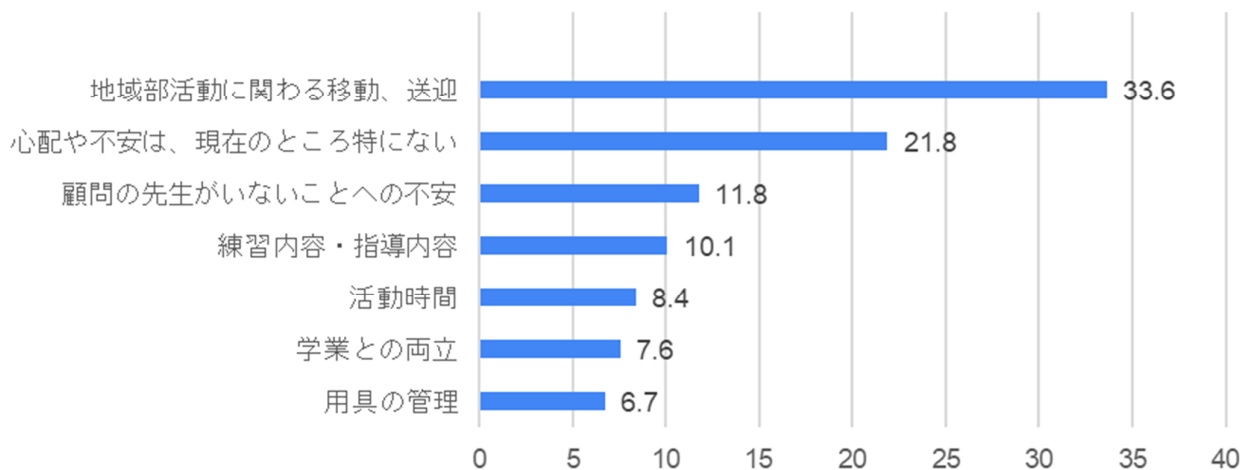
〈生徒〉 部活動に求めていること



↑【その他の意見】

- ・親の機嫌取り（防具の送迎などで）
- ・暖房設備がない
- ・錬成館が寒くて暑い
- ・学校の先生が来ているから学校でやっても地域型でやっても変わらないと思う
- ・顧問がうるさい付いてくる
- ・雨天時等の部活動の有無の判断が難しい。

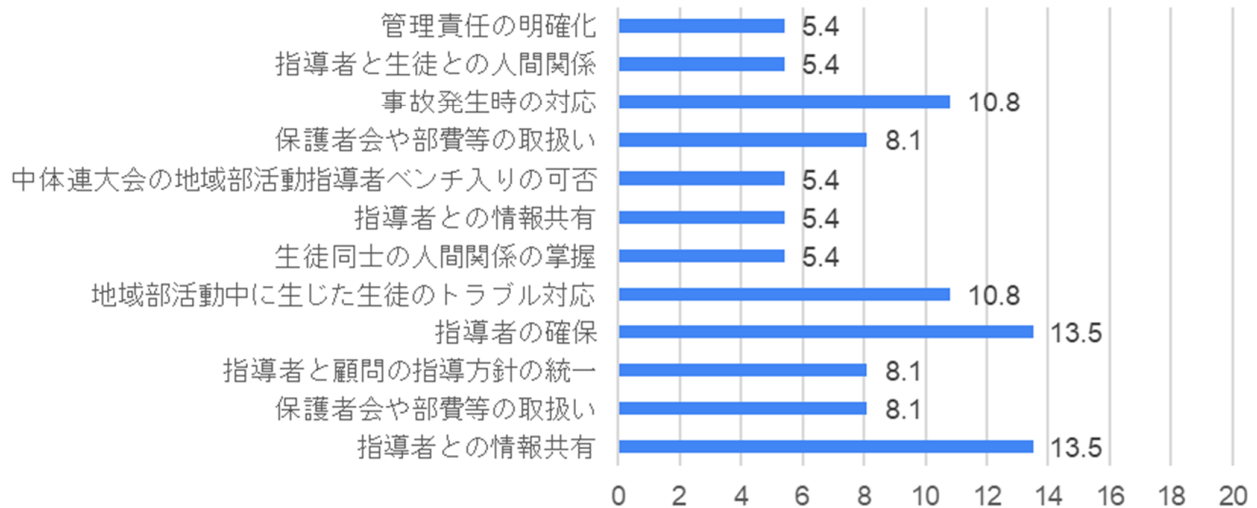
〈保護者〉 KUROBE型地域部活動で不安や心配なこと



【その他の意見】

- ・顧問の先生の負担がおおしく心配。
- ・地域部活動に対する保護者間の意見の相違により、活動に弊害が起きていること。
- ・地域部活動には不満はないが、顧問が未経験者であることに不満を感じる。なぜ同じ黒部市の中学校で経験者が片寄るのか。
- ・指導者がやりたいようにやれるのか？保護者からのクレーム対応はどうするのか？
- ・防具の持ち帰りにあたり一時的に外に置かせてもらっているが、天候が悪い時や積雪時の不安がついて回ります。
- ・指導してくださる方との面識もなく、急に欠席したり遅刻したりする時など、どう対処すれば良いのかわからない。
- ・とにかく時間厳守をお願いしたい。
- ・毎回名前など知る必要がある、学校の先生がいなくなると連絡できない。

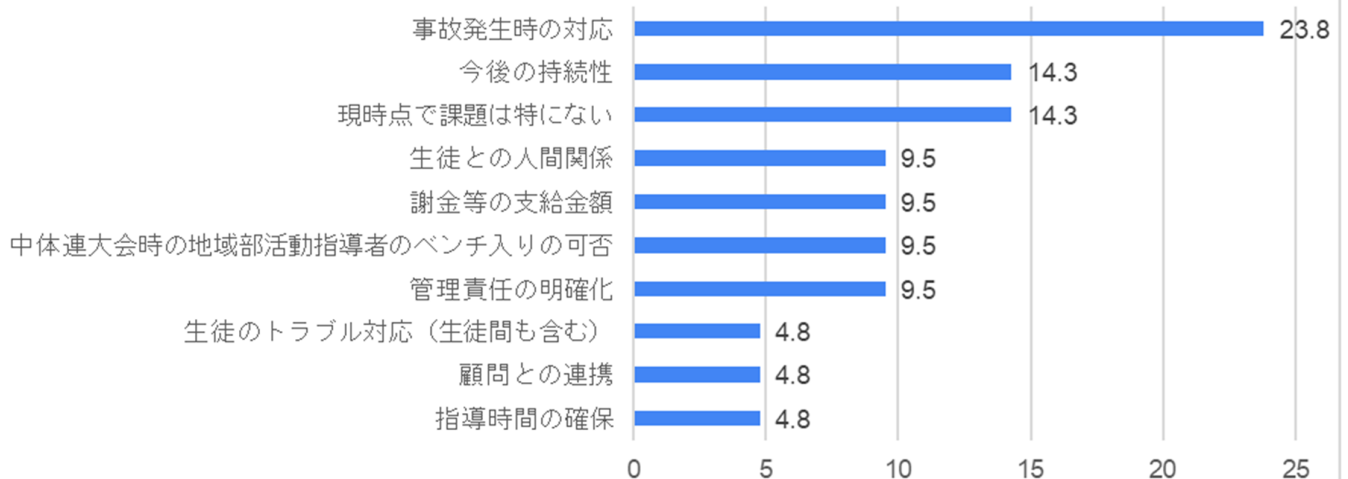
〈顧問〉 KUROBE型地域部活動の課題



【その他の意見】

- ・ 学校生活と切り離しきれない部活動であるので、完全にお任せすることに不安もある。休みがちな生徒への対応などナイーブな内容もある。完全なクラブになることで切り離せると思うが、練習試合の誘いなどに対応するとき2校の顧問と黒部型の指導者の打ち合わせや調整が大変である。
- ・ 生徒・保護者の荷物の準備・移動・送迎等の負担。学校毎で定期考査がずれて部活動停止期間が違うため活動ができないときがあった。活動場所が週末毎に違うため、それを負担に思い入部をためらう生徒がいるのではないかという不安。またそういった生徒が、その不安をはねのけるぐらいのメリットがない。この調査のように結局教員が間に入るのであれば、教員の手間が増えるだけ…。

〈指導者〉 KUROBE型地域部活動の課題



【その他の意見】

- ・ 練習場所を固定出来ず道具をその都度運搬が必要。毎回違う練習場所までは保護者送迎が必須で都合がつかない時には休まざるを得ない。

10 KUROBE型地域部活動の実践から考える課題と対応

①地域への移行のあり方

持続可能な活動にするための体制づくり

地域の中学校の活動を支えるためには、常にスポーツ活動の運営に精通した団体が継続して運営していくことが必要。

対応策 総合型地域スポーツクラブへの運営委託（目標）

部活動（スポーツ活動）への参加は自由という認識が必要

本市では、学校部活動は全員加入制である。地域移行していくときには任意での参加になることから、学校部活動においても自由参加にすることで、今後の地域移行がスムーズにいくのではないかと考える。

対応策 中学校部活動の自由参加制の導入（目標）

②運動部活動の地域での受け皿

他の部活動に拡大させるための受け皿の拡大

現在の7つの部活動に限らず、その他の部活動においても競技団体の協力を仰ぐ必要がある

対応策 市内の競技協会及び競技団体との連携。
令和4年度に事業を説明し、活動への運営協力、あり方検討会への参加、指導者派遣の依頼をしていく。

受け皿となる競技団体への支援

地域で育てる観点からも自治体が支援することで理解の得られる活動になると考える。

対応策 消耗品購入補助 施設修繕への取り組み

③活動日数や活動時間

相応の活動時間、日数の検討

生徒や指導者の中でも、活動を増やしたい、週一日では競技力にはつながらないという声も聞かれた。体育館使用できる日が限られており、練習時間が確保できないという問題もある。一方で、活動を増やすと参加できない生徒がでることや指導者の休日がなくなる問題、またアンケート結果では、現在のままでいいという意見も多く、慎重な検討が必要である。

対応策 ①試合前は、土日の活動も可とする。休養日は平日に振り返る。
(案) ②平日は、必要であるならば、指導者の判断で学校部活動の時間終了後、19時までは地域部活動可能とする。
※体育館が使用できない日を休養日とすれば、週当たりの活動時間は変わらずにできる。

④指導者

指導者の育成（質の確保）

指導経験が豊富な方は、中学生への指導として技術だけでなく、生活行動の面も考えた指導ができるが、経験の浅い指導者には難しい面がある。教員がいない中で、指導者に求められることが多くなっている。指導者の基礎を学ぶような機会が必要である。せっかく引き受けていただいている中で、指導者の方にも気持ちよく、また保護者が安心して任せられる活動にする。

対応策 ①指導者に向けたコーチング講習の開催
(案) ②経験の浅い指導者のみとならない指導体制の依頼

⑤活動場所、施設等

活動場所の確保

そもそも学校部活動が体育館のみでは、満足に活動出来ていない状況。また、屋外の競技が雨天時の活動場所に困っている様子も見られた。今後、全部活動に広げていくときにも、活動場所が不足する問題がある。

対応策 旧校舎の体育施設の有効活用。

施設的环境

熱中症などを未然に防ぐための環境の改善を進めていく必要がある。

対応策 市の管轄の施設は、施設修繕等を継続していく。

活動にかかる送迎

合同部活動を行う際、毎週学校外の施設に集まって活動するため、移動や送迎に負担を感じている生徒、保護者が多い。

対応策 R4年度での実現は難しいが、保護者の負担を軽減できるような移動方法やルールについて研究する。

⑥保険のあり方

保険の二重加入

学校での保険とは、別にスポーツ安全保険に入る必要があり、これがなくなれば保護者への負担も少なからず減らすことができる。

対応策 学校の日スポの保険内容を学校部活動単位の活動を、保険の対象にしてもらう要望

⑦費用負担のあり方

受益者（参加者）負担

現在は、施設使用料及び遠征に係る費用が発生する場合は、負担をお願いしている。これからは、学習塾に費用が掛かるように、スポーツ活動にも保険料や指導者への謝金等の費用を負担していただく必要がある。

対応策 激変緩和措置をとりながら、段階的に保護者に負担を求めていく。
R4年度は事業費の3分の1を参加者負担とする予定。

国及び自治体の財政支援

「地域全体で子どもを育てる」ということから、市としても支援していく形があれば望ましい。国や県からの援助も不可欠である。

対応策 活動を運営する競技協会への活動補助金
総合型地域スポーツクラブへの活動支援

⑧その他課題

用具の管理

学校部活動で使用する用具を共有するため、持ち運びが必要。登校時に持ち運ぶのが難しいため、地域部活動後に学校へ返却しに行きたいが返却場所がない。

対応策 学校に用具返却できる用具庫を設置。（市内施設で不要になったものを再利用）

連絡体制

急な活動場所の変更等、急な連絡がうまくいっていない状況がある。（特に生徒の意見の中で連絡網がほしいという声が多い）

資料1 ご意見①（賛成意見）

生徒	
剣道	他の学校との交流が増えたから。
剣道	前より運動する量が増えたから
剣道	学校よりも専門の指導をしてくださるので、剣道に対しての興味が増しました。
剣道	基本的な打ち込みが楽しいからです。
剣道	土日に運動をしたかったから
剣道	模造刀を持ってきたり木刀と竹刀の違いを教えてくれたりしておもしろかった。
剣道	楽しくみんなと型ができるから
剣道	物凄くやる気が増しました
剣道	今まで、同じ学校同士でしか稽古できませんでしたが、別の学校とやって、自分の技を試せるようになったからです。
剣道	地域部活動となってから指導が充実し、もっと剣道を知りたいと思ったから。
剣道	もともと意識は低かったから。
剣道	明峰と合同で広い錬成館を使えるのが嬉しいです。
剣道	今後も休みことなく参加し剣道の技術を高めたい。
柔道	さらにスポーツをするのが楽しくなったから
柔道	たくさんの先生方や他の中学校の生徒とも知り合えるから。
柔道	自分が強くなりたいと思ってもっとやりたいと思いました。
柔道	元々スポーツが好きでやっているうちにそれ以上に体力をつけたりしようと思いました。
女子バスケットボール	運動が好きだから
女子バスケットボール	運動が楽しいから
女子バスケットボール	運動をする時間が増えたから
女子バスケットボール	頑張ろうと思った
男子バスケットボール	活動を通して上手くできるようになってきて楽しく活動できるようになったから
男子バスケットボール	自分の技術に繋がるから
男子バスケットボール	活動を通して上手くできるようになり楽しく活動できるようになったから

男子バスケットボール	いい練習ができるから
男子バスケットボール	バスケットボールが楽しい。
男子バスケットボール	バスケットボールに対する意欲が増したから
男子バスケットボール	バスケがもっと好きになりました。
陸上	とても楽しいと感じるようになったから
陸上	他の学校と楽しく高め合うことができるから
陸上	普段行わない楽しい練習ができるから
陸上	運動する機会が増えたから
陸上	普段行わない楽しい練習ができるから
陸上	運動の詳しいことを知れたから。
陸上	現役の選手もいて、すごいなと感心したから。
陸上	コーチが来られる事により、トレーニングの方法や競技について教えてもらえるから。
陸上	全国レベルの選手が指導してくださるので、刺激的だし楽しいから。
陸上	今までよりも沢山、競技を経験したコーチが来てくれるから
陸上	大会の時とか頑張れーーーーって思えるから。
陸上	今までより沢山のコーチが、来てくれるから
陸上	練習の質が高いから
陸上	普段の部活動と違ってコーチがついているから
陸上	普段の練習よりも話しやすいコーチ人が多く、分からないところも聞いて楽しく学べるができるから。
陸上	明峰中学校の人と、楽しく、しっかり活動できるから。
陸上	出来る事が増えたから興味や意欲が増した。
陸上	自分の体力が向上したので、色々なスポーツがしたいと思うようになった
陸上	地域型の部活動があって、部活動がより楽しくなった
陸上	学校でする練習よりもいろいろな練習ができてやりがいがあるから。
陸上	運動は嫌いだけど体力が増えるからこの活動はいいと思う

保護者	
アーチェリー	顧問の先生だけでなく、その道を極めた方に技術指導をしてもらえる機会を頂いて、ありがたいと思います。
アーチェリー	地域の大人との関わり合いがとても勉強になる。
アーチェリー	教員の負担が減ることにより、休息がとれ、他の業務に専念出来る(教員の仕事が多すぎです!!)。専門的な指導を受けることが出来る。
アーチェリー	その部門の専門知識がある方が指導してくれる事は対辺良いことだと思う
アーチェリー	先生の負担が減るのであればよいと思う
アーチェリー	休日の先生の負担が少なくなる
アーチェリー	生徒と地域のつながりができ、様々な面で良い影響が期待できる。また先生方の負担を減少できると思うので。
アーチェリー	同じ先生から指導されるよりもいろいろな意見も聞けて楽しく取り組みそうだと思います。
剣道	部活動の参加者が多い方が切磋琢磨され部活動のレベルが上がると思うからです
剣道	違う環境、外部の方に客観的にみてもらえる。
剣道	競技技術の向上が望める
剣道	先生の負担軽減とより専門的な指導が受けられる
剣道	指導者の先生と子供たち、保護者との信頼関係がある。先生も素晴らしい指導者である
剣道	他校との交わりもあり、社会性が身につく
剣道	部活を通して様々な人と交流が出来ること
剣道	平日も地域の指導者の方が熱心に指導してくださっているから安心してます
剣道	専門家でありしっかりしている。剣道の楽しさ教えてもらえてる。
剣道	顧問ではない違う指導者に指導してもらうことによって子供達もいい刺激になっていいと思います。
柔道	指導者の方によって、技の教え方や色んな面で子供達にとって良い刺激になるのではないかと思います。
柔道	他校の生徒や地域の指導者の方など多く人と関わる事ができる。
柔道	本人のやる気を引き出してくださる環境がある。
柔道	経験のある指導者に教えて頂ける事と、明峰だけでは、人数が少ない為、清明と合同でする事によって、よりよい練習をさせて頂ける事、上手な子を見る事で、本人のモチベーションも上がる為
柔道	経験のある指導者に教えて頂ける事 明峰だけでは、人数が少ない為、清明と合同で練習する事により、レベルの高い練習ができる為
女子バスケットボール	色んな視点からの指導がしてもらえる

女子バスケットボール	学校の教諭の負担を軽減するとともに部活動のスキルアップが図れる。
女子バスケットボール	子供にとっても良い経験になるとおもうから
女子バスケットボール	顧問だと、経験者でない場合があるから
女子バスケットボール	先生の負担が減るのでは
女子バレーボール	技術面を指導してもらえるから
女子バレーボール	専門的な知識と技術力を持つ方に指導して頂けているから
女子バレーボール	顧問の先生の負担が減ることで授業に専念できるし、競技経験者が指導するところで競技力向上が期待できる。
女子バレーボール	先生の負担軽減
女子バレーボール	地域型指導者の連携という点は良いが、指導者にもよる。誰でもいいというわけではない。
男子バスケットボール	子供のやる気が出る
男子バスケットボール	バスケットの知識や技術力が高い人に指導してもらえるから
男子バスケットボール	指導資格を持った方が、指導にあたっている
男子バスケットボール	専門分野での指導を受けられる
男子バスケットボール	顧問教員の休日負担は減ったと思うから。また、生徒はより専門的な競技技術を習得できていると感じたから。
陸上	先生の負担がへるから
陸上	いろんな方からの指導で幅がひろがるし、色んな方と関わることでの人間的な向上、対応力が向上すると思うので。
陸上	先生は多忙で手が回っていない印象
陸上	経験ある方の指導のもとで、できる為 他校との協調性ができる為
陸上	より専門的な指導を受けられるのでは、と思うから。
陸上	専門的な先生に教えてもらえる事と、他校とも交流でき、子どもにもプラスになっていると感じるため。
陸上	顧問の先生方の普段が少しでも軽減されることは良いと思います。 また、指導者が増えることにより、視点の変わる指導、アドバイスが加わる事となる。それが生徒たちの技術の向上進歩に繋がると 생각합니다。
陸上	色々な方の指導を得られるから
陸上	コーチの人数も多く、個々の種目の指導を受けることもできるからです。
陸上	学校の先生だけでは出来ないことを補えるから

顧問

生徒が専門的な指導が受けられる。地域の目、大人の関わりが増えた。完全に軌道に乗れば教員の負担が減ると信じている。

指導者が3人登録されており、生徒がより専門的で効果的な指導を受けられる。

負担が軽減された、ゆっくり休むことができる。

土日は、別の仕事ができることになったことや、自分の時間をもてるようになった。

専門性の高い指導をしていただいている。

オフシーズンから試行が始まったため、指導者にお任せしており、動きのポイント等も私自身も教えていただいている。

休日の活動の負担感が確実に減っている。

休日、ゆっくり過ごせるようになったこと。また、生徒が質の高い指導を受けれるようになったこと。

より専門的な技術指導が可能になった。練習試合を含む対外試合に行きやすくなった。

地域としての指導力向上と指導の一貫性がある。

(土)(日)の部活動がなくなり、学校と家庭と分けて生活できるようになった。

超過勤務時間が減った。

指導者

二校のつながり強くなった様に思います。

スケジューリングしやすい

普段の学校生活での生活態度や学業の成績などとは切り離してバスケットボールの指導をしているので、生徒も学業と部活動の切り替えが出来ているように感じる。（平日の部活動は集中力に欠けるように感じる）

地域（協会）で中学生を育成するという気持ちの芽生えが生まれた。

学校の枠を超えた他校とのコミュニケーションや、様々な経歴や技術を持った複数の指導者から幅広い指導を受けることができるので、生徒にとっては自分自身に必要な指導をある程度選択肢を持って取組めることができること。

活動時間の確保

2校合同での稽古、お互いの刺激となり良いのでは

また、昇段審査対策として週に一度稽古（審査対応稽古・日本剣道形）できることは非常に良いと感じる

教員の休日が増える。

コーチ陣が多彩で多種多彩な練習ができマンネリ化せずに継続するモチベーションになっていると思う。

技術向上に向けて順調に取り組めている

学生は、より専門的な指導を受けることができ良いと思う。

経験者による直接指導により競技レベルの向上

地域指導員だけで活動でき、顧問の負担の軽減が考えられます。

資料2 ご意見②（課題、提言等）

活動日や時間に関すること		
保護者	女子バレーボール	予定が出るのが遅い。毎週土曜日とか毎週日曜日とか練習日を設定してくれれば有難い。家庭の予定が全く組めません。
保護者	アーチェリー	罰ゲームのようなしごき方はよろしくないと思っています。意味のある指導をお願いいたしたく。もう少し、一人一人の頑張りを認め、楽しく持続的に関われるようメンタル面においても指導ができていないと感じます。今のところ、意味のない部活になっております。（時間の無駄）個々に負担のかからないスケジュールを組むことも必要かと。（何よりも時間厳守）何卒、ご検討頂きたく宜しくお願い申し上げます。
保護者	剣道	顧問の先生には日頃から熱心に指導して頂き、練習や礼儀に関しての指導に大変感謝している。春夏季、秋冬季期間など、送迎にかかる親の負担の軽減を望む。土曜日の地域部活動を無くし、平日に設けられてるノ一部活動デイの日に部活した方が子供たちの休息の時間もあるのではないかと。平日月～金曜日までとし、土日はしっかりと休ませる。突発的に入る地域部活動以外の活動や学校の予定で、しっかりと子供たちの休息が保たれていないように感じる。部活動に特に力を入れたいと親としては思っておらず、急に中学二年になり地域部活動と言われて戸惑った。一年生の部活決めの時点でこのような形になるのであれば、この部活動を選択していなかったかもしれない。
保護者	女子バレーボール	夜に実施となると既に部活とは言えない。部活という単語を完全に抹消して、その予算全てクラブチームに対しての助成金に当てて地域スポーツの拡充を図るべき。
生徒	柔道	塾と、時間がかぶっているの、なかなか参加出来ず困っている。
生徒	陸上	時間を増やして、長距離の合宿もつくってほしい
保護者	女子バレーボール	休日はしっかり休ませてあげたい。また、負担が大きい
保護者	陸上	夜の活動があると、食事の時間の変更が必要になりそうで、家族との団欒の時間を持ちにくくなる。送迎などで下の子をみてやる時間が減る。全体的に親子共生活時間に無理があるように思うから。
保護者	柔道	祝日は休みではなく仕事なので送迎する人がいない。祝日の地域部活動はやめてほしい。
保護者	柔道	送迎に問題が出てくる。家族全体の生活リズムまで変わってしまう。
保護者	アーチェリー	平日は仕事があるため、夜に送迎が必要となると頑張っても週に1, 2回が限界です。
保護者	陸上	仮に平日になったら、習い事などあるので行けなくなると思います。夜遅いと小さい子がいるため送迎できません。宿題、寝る時間けずられるのはよくないと思います。
保護者	アーチェリー	夜の活動となると、塾やその他習い事をしていると参加できる日が限られてしまう、もしくは参加出来ないといった問題が気がかりである。

保護者	剣道	仮に平日夜実施となると、塾通いとの関係で部活動参加日数が少なくなる。しかしながら土日だと、大会や練習試合、講習会が続くと本人の体力的に学習との両立は難しいと思われます。
指導者		競技力を向上させていく上で練習時間が少ない。
指導者		コーチ陣が多彩で多種多様な練習ができマンネリ化せずに継続するモチベーションになっていると思う。反面、週1～2回の短発練習では効果が得難い。
指導者		実際増やすとすると自分の休みが少なくなる恐れがある。
指導者		バスケットボールと学業のバランスを取れる人になって欲しいので、部活動の時間が今より増えることが全て良いとは思わない。
指導者		上手になりたい！試合で勝ちたい！等そう思うなら、圧倒的に時間が足りないと思います！
指導者		会社員をしているため、日数や時間が増えると活動に参加出来ない場面が出てくると思います。
指導者		指導レベルを高くできる反面、指導者のレベルの安定化が不安
指導者		週一回の指導では難しい。
指導者		時間が無い。
指導者		やりたくてもやれないという感じはまだあります。生徒達の意見を尊重して無理して活動する必要はないですが、冬場の練習時間確保等は全然出来ていなくて、他市町村またはクラブチームに比べて少なく感じます。
指導者		地域部活動の活動時間を増やす場合に、平日の夜や土曜日曜の二日間活動などの方法があると思います。それとは別の案として、以下の方法を提案します。 男子バスケットボール部の希望 平日の部活動終了時間が夏季は17時45分終了、冬季は17時15分終了ですが、部活動終了時間の15分後から地域部活動の時間を30分間～60分行えるような形を希望します。男子バスケットボール部の場合は体育館練習日のみ上記のような活動にして、体育館が使用出来ない日は部活動休みにしたいと思います。そうすることで、週のトータル活動時間は増えないままで、体育館練習の時間を確保出来ると思います。顧問の先生は部活動終了時間までで、その後は地域部活動指導員に委託して活動を行う。このような柔軟な対応も考えて頂きたいです。上記の内容も含めて検討頂きたいと思います。よろしくお願いします。
指導者		活動時間制限の明確化しっかりとしてほしいです。無理な活動はするつもりは無いですが、やはり冬場においては活動時間が少なく地域型部活動の意味があまりない様に感じます。

指導や指導者に関わること		
保護者	女子バレーボール	この前の地域部活動の意見交換は、何のための場だったのかが今だにわかりません。夜練のことは一切関係ないですし、何が改善されるのか、どうしていくのか全くわからない意味のない場だったと思います。 チームとしてのレベルアップ、子供たちのひいきがないように、勝ち負けでなく、楽しめる場＝勝ちにしてもらいたい！人間関係でバレーボールを嫌いになってほしくないですし、将来を示せる指導者が必要だと思います。 行動の機敏さ、挨拶そこは指導者から見せない中学生は指導者をみています。ほんとにバレーを好きで、一所懸命な指導者は子供に伝わります。 長年されていた指導者がいてこそだと思います。中学生を見るのは早いのではないのでしょうか？
保護者	女子バレーボール	普段の練習(放課後の部活動)と試合を見る人が違うのはどうかと思います。
保護者	女子バレーボール	指導者がチームとして強くしていこうという気持ち、練習内容、子供達のことを平等に見てくれないことの心配
保護者	女子バレーボール	子供達に対する態度、指導について、間違っていると思う為、不安。 (技術面ではない点で)
保護者	女子バスケットボール	指導者が勝ちに拘り、全部員が試合などに出られず、好きで入った部活なのにモチベーションが下がらないか心配。 中学のうちは、なるべく勝ち負けより高校につながるよう、育成中心にした方が良く感じています。
保護者	男子バスケットボール	外部コーチがたくさん携わる事により先生方の負担が軽くなるのはとても良い事だと思うが、勝ち負けにこだわりすぎているように感じる。 私は勝ち負けよりも、仲間と一緒に部活を楽しむという事を大切にしてほしいがそれが置き去りにされているように感じる。 公立中学校の部活は初心者の子や部活を楽しみたい子、色々な子が入部してくると思う。全員が勝ち負けにこだわっているわけではないと思う。
保護者	女子バレーボール	技術をもった指導者に指導してもらうのは良いが、指導者としての態度・姿勢や子供達への接し方等学んだ経験者の方に指導をお願いしたい。 指導力がない指導者には、体制として経験ある指導者を付けてほしい。 また一部の子供だけに指導すると本気で有り得ないと思っています。一部が上達すればいいというわけではないです。 全員を平等に見てほしいです。子供達は敏感です。そんなひいき目の態度から気にして部活に対して行きたくないといった子もいるようです。 部活動では、技術だけでなく礼儀や挨拶・姿勢も学んでほしい。試合に勝つことだけを願う親もいるが、私は子供達には勝ち負けより団体競技をチームで楽しんでもらいたいと思っています。
教員		大会の監督コーチとして、出れるようにしてほしい。中体連の大会は監督としてはできないと説明しても中々理解してもらえない。
指導者		技術向上に向けて順調に取り組めている バレー以外の指導が難しい（生活指導）

活動場所や環境に関すること		
生徒	剣道	エアコンがない、防具置く場所の環境が悪すぎる、夏暑すぎる、冬寒すぎる。 ちゃんとした防具を置く場所を作って欲しい。
生徒	剣道	体力が追い付いてない。錬成館にエアコンをつけてほしい。
生徒	陸上	体育館を増やしてください。あと、タータンのトラックを作ってください
生徒	陸上	もっときついメニューにしてほしい、もっと近い場所がいい
保護者	陸上	陸上部の冬場の活動場所について。 せっかく地域部活動が出来ても、陸上部は満足の行く活動場所がない。
教員		専門性の高い指導者に多数来ていただきとてもありがたい。ただ黒部市に活動拠点がなく他市町村の陸上競技場を使用している。 そのため天候等による臨機応変の対応が非常に難しい。冬場も会場の確保に大変苦労しておられる。 (単独であれば自校のグラウンド、校舎等が使用しやすいが) 合同の地域部活動には活動急拠点（総合陸上競技場）が必要である。 合同のため、学校間のねらいや取り組みにばらつきが見られる場面がある。人数が多く効率がややよくない時がある。
指導者		練習場所の確保が難しく感じる時がある。 今後、KUROBE型の競技が増えてくと更に難しくなると思う
生徒	剣道	防具の置き場所や防具を学校までもっていくことが大変です。 夏場は暑く、熱中症で倒れそうになります。 冬場は寒く、足裏が痛くなります。
保護者	剣道	時間外でも置ける道具置き場を設けて頂けると助かります。
保護者	剣道	剣道は防具の搬送に負担を感じます。校舎の外に保管庫の設置を希望します。
保護者	剣道	学校の一角に防具を一時的に置ける物置など（雨がかからない場所）を設けて頂きたいです。
保護者	剣道	金曜日放課後に防具を外に出して置いて保護者が夜のうちに取りに行っているが、雨の日に防具が濡れる。高いものなので雨ざらしは悲しい。
教員	剣道	用具の移動の為の準備や片付け・それらへの生徒への指示や手間等、部活動の時とは違う手間や気遣いが増えた。

連絡方法に関すること

生徒	陸上	部活動内の連絡網を作ってほしい。
生徒	陸上	連絡網をつくってほしい。
生徒	陸上	部活内での連絡網を作ってほしい。
生徒	陸上	連絡網を作ってほしい。
生徒	陸上	連絡網を作ってほしい
保護者	陸上	コロナが流行ってきているので そういう場合中止にして欲しい 連絡網を作って欲しい
保護者	アーチェリー	緊急時の連絡網が必要だと思います。
教員	剣道	身体的負担は確実に減っている。しかし、打ち合わせ、相談、連絡などが増え、運営しなければならない団体が増えた 気分で、精神疲労が大きいです。
教員	女子バレーボール	コーチと連絡をとることが負担。こちらへの思いが伝わらず何度も連絡を取る必要が出たり、返事がもらえないことが 度々あったから。

受益者負担に関すること

保護者	男子バスケットボール	参加費について。集めることには反対しません。しかし、家計の負担が増えることで家庭によっては生徒の部活動選択 に影響がでる場合もあると考えます。 できるなら公費で運営していただきたいです。
-----	------------	---

その他

保護者	女子バスケットボール	クラブチームとして登録できないのでしょうか？外部指導者を増やすことはできないのでしょうか？
保護者	柔道	先生の負担を減らす目的はわかったのだが、目標は？地域部活をやったことにより昨年より黒部市の中学校が良い戦績 をあげたのか結果が知りたいです。 今年の夏にはそれぞれの部活の戦績が出ると思うので、昨年との比較、報告が欲しいです。 ちなみに黒部市として越境についてどう考えているのでしょうか？ 部活で良い指導者の所で指導を受けたい生徒がいた場合、他の市の中学校に簡単に行かせていただけるのでしょうか？
生徒	女子バスケットボール	試合がしたい

生徒	女子バスケットボール	練習中、私語が多い。
生徒	陸上	合同は効率が悪い
生徒	陸上	部活の顧問が変なことである、女性の先生がおられないので相談しにくい、休憩時間が少ない
生徒	陸上	みんなで楽しんでできることも取り入れてほしい
保護者	女子バレーボール	部活動に対する考え方が保護者でもまちまちです。やりたい子・やる気のある子が、やりたくない家族に合わ せるのはやめてほしいです。 高校をスポーツ推薦取りたい子が不憫です。強制参加にはしないで欲しいです。
保護者	女子バレーボール	大人の都合も勿論優先すべきとは思いますが、何より子供達にとってよりよい形になるように尽力頂きたいと 思います。子供達が大人の都合に振り回されることが決してありませんようお願いいたします。
保護者	女子バレーボール	そもそも部活動を全員入部ではなく、希望者のみ入部するようにしてほしい。
保護者	剣道	親として子供が新しい取り組みに参加していることを喜ばしく思っているが、子供は違和感があるよう。 県体や昇段審査という目標がある時なら問題はないが、普段の練習となると清明もライバル校なので複雑らしい。 そういった心の動きも成長に繋がるのでこれからも見守っていく。
保護者	女子バレーボール	クラブチームじゃないのに負担が大きすぎる。普通に放課後の部活動では駄目なんですか？
保護者	柔道	クラブチーム等と兼務している為、あまり参加できていません。
保護者	陸上	質問の内容がいきなり突きつけられた質問が多くて困惑しています。 このような内容の質問をするのなら、事前にもう少し丁寧な説明会があつてしかるべきではないのでしょうか？ 先生方の働き方改革は当然考慮すべき問題ですし、それに付随する部活動をはじめとする諸問題は山積してる 事は容易に想像出来ますが、あまりにも稚拙というか保護者を愚弄するかの様な設問には少々理解に苦しみ ます。 教育委員会は所詮お役所仕事で、現場軽視、他人事の感が否めない内容ですね。残念ながらそう思わざるを得 ないです。この設問を設定したのは子育て世代の方ではないのでは?と思います。 これでは生徒、先生方共に何ひとつ良い方向には進まないような気がしますね。毎日デスクワークでご苦労も 耐えないとは思いますが、どうか現場主義で進まれる事を心より願っております。
保護者	陸上	今までの部活と何が変わったのか良くわからないし内容的に向上しているかもわからない
教員		大会シーズンに入ったときに選手選考やオーダー決め等があるため、現状ではやはり休日の部活に顧問がいな い場面は考えにくい。 また決定等の主が地域型にあるのか、学校にあるのかどこに持って行くのかを調整していくことが必要。生徒 が納得できる方向にしていきたい。

教員		クラブ化を勧める道筋が見えてこない。部活動としては問題点の洗い出しで良いが、クラブとしての自立やうまみ、盛り上げていく方策が大事だと考えている。（例 KUROBE型としての独立した参加者公募、スポーツ少年団と同様な支援体制 など）
教員		指導者の方々の丁寧な指導には毎回頭が下がる思いです。 急激な変化にもかかわらず頑張ってくれる生徒や保護者にも頭が下がる思いです。 しかし、正直黒部市の対応には疑問を感じます。 地域部活動の1回目に少しでも参加して、その後は一切来ません。 どのような様子で行われているのか気にならないのでしょうか？ この取組に対する収穫・課題等気にはならないのでしょうか？ 実際に参加している生徒や保護者・指導者・教員の生の声は気にならないのでしょうか？ 特に生徒・保護者と真摯に向き合って、心から納得・満足する事業にしていって欲しいです。 そうなることが本当の意味で、生徒にとって望ましい指導の実現を図ることや働き方改革として教員の負担を減らすことに繋がるのではないかと考えています。
教員		どの部の顧問になってもいいように、他競技の地域部活動化も望みます。
指導者		デメリットというわけではありませんが、学校教育の中の部活動とうよりも、競技に特化した指導、活動となってしまうことが様々な競技レベルの生徒全てが有意義な時間と感じているかは疑問。また、生徒の人間性や家庭環境、得意不得意など分からない部分が多いので知らぬ間にメンタルを傷つけたり不安やストレスを与える可能性のリスクを感じる。
指導者		現在の活動について従来の部活動とあまり変わらない感じが見受けられました。 活動場所の確保等は学校にお任せですし、時間等もこれまでと変わらない感じでした。 新型コロナの関係の連絡等も学校から連絡があり急遽中止入院なったり、テスト期間の練習停止期間等も全て顧問からの連絡で行ってました。現段階では特別な感じは見受けられませんでした。
指導者		謝金を増やしてほしい（今の2～3倍）。これからの若い指導者を育てていく上でも、この地域部活動を活発に、且つより良くしていく上でも大切で必要なことと思う。
指導者		地域部活動の位置付けが不明確と感じます。生徒や保護者はどのように感じているのでしょうか。
指導者		今後継続している中で、学校の顧問の異動・毎年入部される子供及び保護者との連携・剣道協会内での指導者の若返り等により、毎年新たな課題対応が必要かと思います。
指導者		合同部活動時に借りている施設(鷹施中や宇奈月中)の清掃が行き届いていない。使用後のモップ掛け等を行っているが、モップが汚い。ゴミ箱は溢れている。使用・管理ルールを明確にしてほしい。